

トピックス

伊万里港開港 50 周年タイムカプセルを開封

半世紀の発展の歴史と未来への希望



昭和42年10月22日の開港指定記念式典の様子



↑ 50 年の時の流れと歴史の重みを感じます

伊万里港が外国と貿易が可能となる国の開港指定を受けて 50 年を迎えた 6 月 1 日、山代町久原の開港記念碑の前でタイムカプセルの開封式がありました。これは昭和 42 年（1967 年）10 月 22 日に開催された『伊万里港開港指定記念式典』の際に、開港記念碑の石段の下に埋設したものです。記念碑には 50 年後の 2017 年 6 月 1 日に、時の市長と開港指定時に誕生した 8 人が立ち会いの上で開封することと記されています。

開封式には、記念碑に名前が記された立会人とその家族

や当時の市の担当者、塚部芳和市長などが出席。カプセルが取り出されると、出席者から歓声があがり、中からは伊万里市史や式典当日の新聞、同年に発生した水害の記録資料などが次々に取り出されました。出席者は興味深く眺めながら、当時の思い出などを語り合っていました。

当時 0 歳で立会人の大川内新さん（松浦町）は、「とても感慨深い。次の 50 年に向けてますます発展していくことを願います。」と話していました。

なお、カプセルは現在、市民図書館で展示・公開しています。

2 トピックス

3 特集

7 友好交流 30 年のあゆみ

8

9

みんなの広場

10

11

ほがらかページ

12

13

スポーツ

14

教育と文化

15

21

インフォメーション

暮らしのチャンネル

22

29

22-26 お知らせ・募集

27 こんにちは図書館です

28 保健だより

29 市民相談ほか

30

スポーツ少年団交流大会
編集室から
人の動き

今月の表紙



色とりどりの花苗を植える子どもたち。6月6日、松浦小学校で『人權の花』贈呈式がありました。苗を傷つけないようにとちよっと緊張した表情。1年生から6年生まで協力して、きれいなプランターができました。【9ページに関連記事を掲載】